

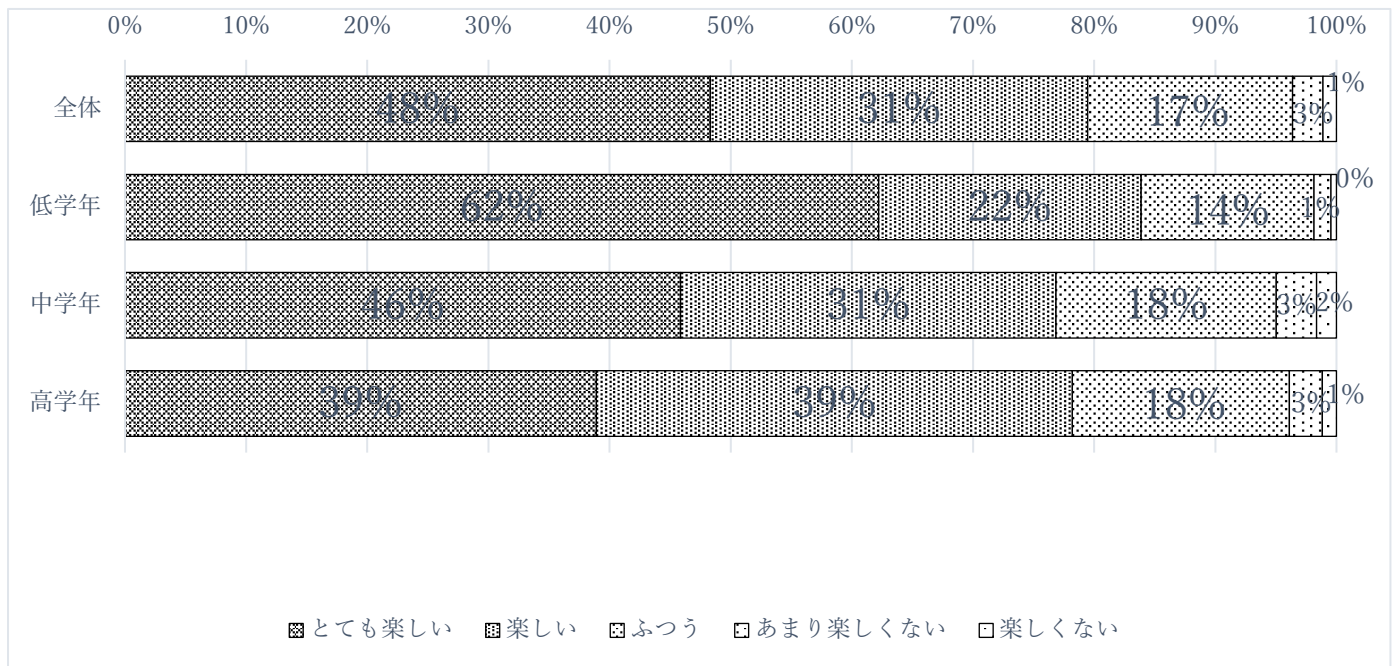
がっこうせいかつ じどう 【学校生活アンケート（児童）】

調査時期：令和3年12月初旬

調査対象：宮前小学校児童 759人（回答率94%）716人

*今年度は Google Form を用いてアンケートを実施。

せつもん がっこう たの 設問1. 学校は楽しいですか

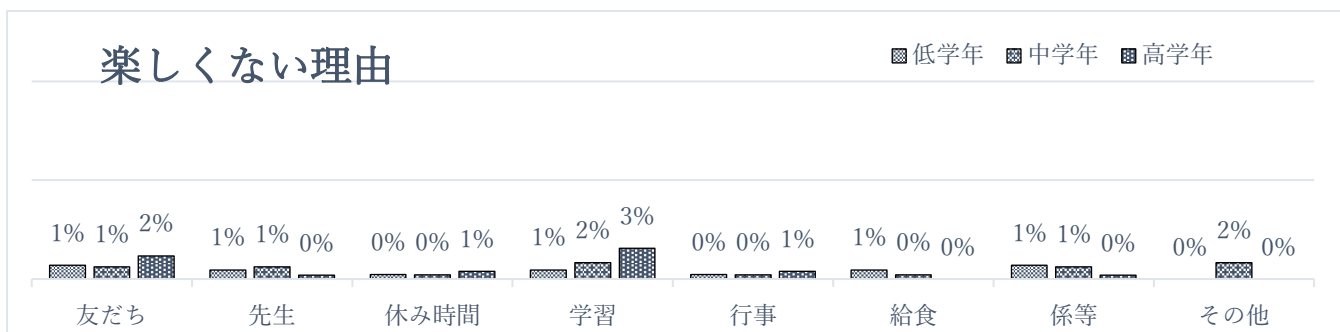
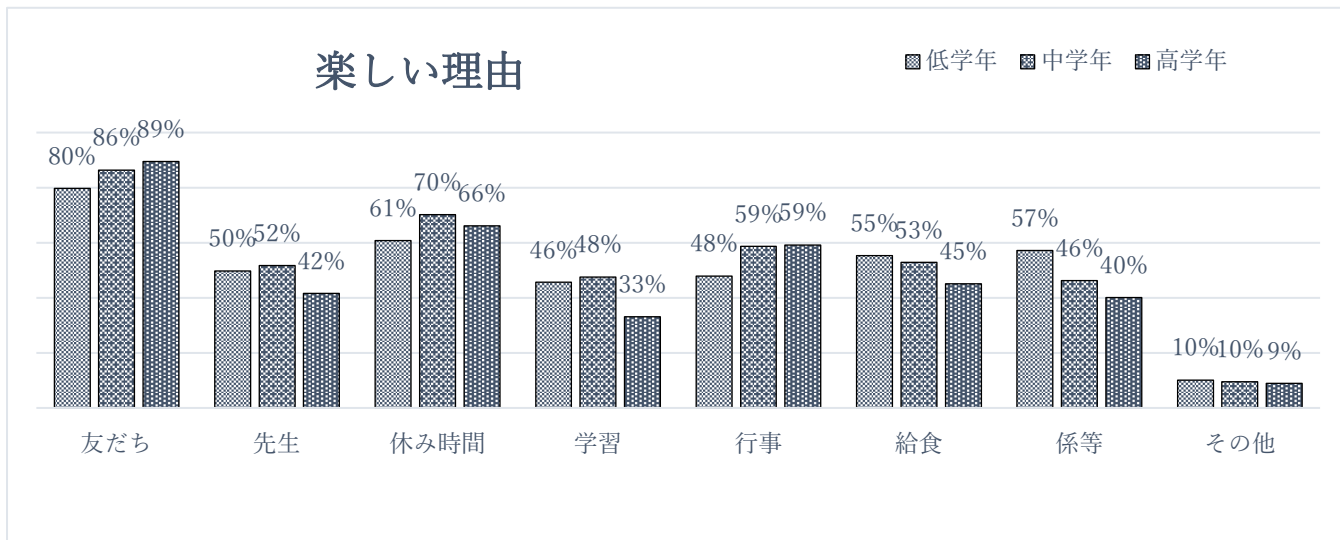


がっこうが「とても たの楽しい・たの楽しい」と前向きな評価をしている児童は79%で、さくねん昨年と同程度です。
ていがかねん低学年では、さくねん昨年度より「とても たの楽しい」という評価がひょうか増えています。がくねん学年が進むにつれて、がくしゅう学習もむずしくなり、やらなければならないことも増え、とも友だち関係でなや悩むこともあり…と、たの楽しさばかりではないけれど、そのなかでやりがいやよろこ喜び、たっせい達成感などを感じながらがっこうせいかつ学校生活を送っている子どもたちの様子ようすがうかがえます。一方、割合は低いですが、たの楽しくないと感じている児童じどうがいることをしっかりと受け止め、よりたの楽しい学校をめざして取り組んでまいります。

設問 2-1. 学校が楽しいと思えるのはどんなことがあるからですか。

2-2. 学校が楽しく思えなかったり困ったりするのは、どんなことがあるからですか？

(設問 1 で「とても楽しい」「楽しい」「ふつう」選んだ場合、設問 2-1 へ、
「あまり楽しくない」「楽しくない」を選んだ場合、設問 2-2 へ誘導)



どの学年も、8割以上の児童が「友だち」の存在を楽しい理由として挙げています。高学年になるにつれ、友だちの存在が大きくなっています、一方で、楽しくない理由としても友だちが挙がっており、友だち関係で悩む姿も読み取ることができます。

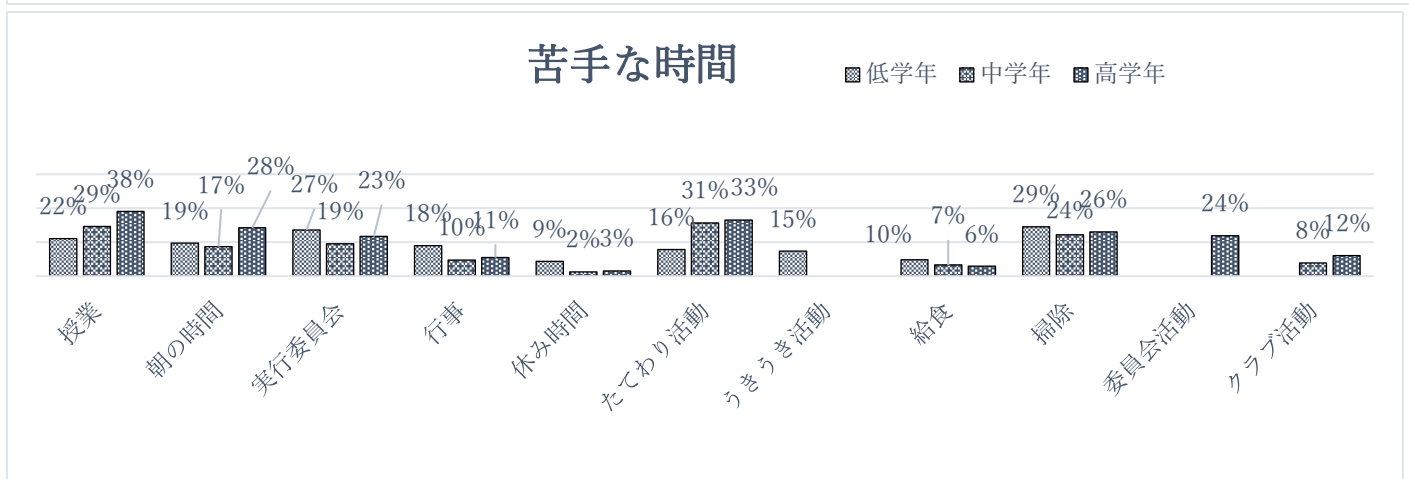
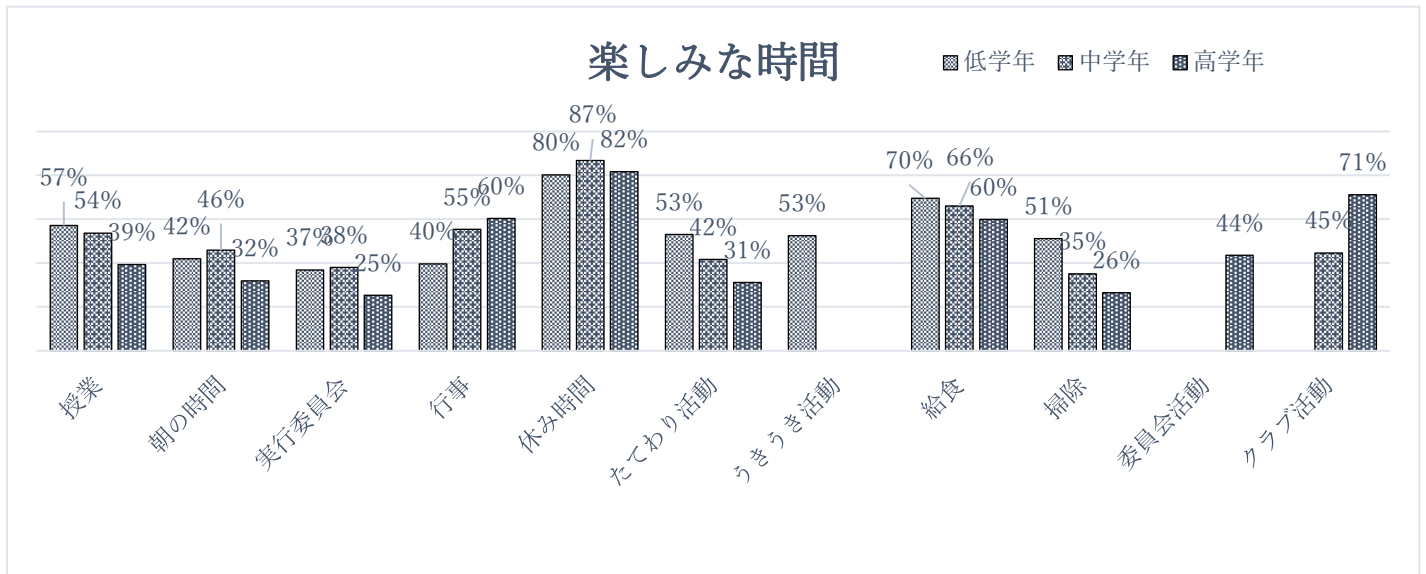
楽しい理由としては、続いて「休み時間」、「行事」を挙げています。行事については、7月に昨年度延期になった100周年記念式典を行うことができました。感染症対策をとりながら、低学年の動物園への遠足、5年生の八ヶ岳自然教室、6年生の日光修学旅行などを行い、昨年同様、運動会も秋に開催することができました。高学年で昨年よりも増えているのは、大きな行事に学年全体で取り組み、やりとげた満足感がうかがえます。

学習に関しては、今年度は感染症対策のため、体験学習やグループでの学習が実施しにくかったことがありました。このような状況でも児童が意欲をもって学習できるよう、オンラインでの地域学習やゲストティーチャーを招いての授業、消防署や科学館の出前授業などを実施してきました。楽しい理由に学習を挙げる児童がさらに増えるように、次年度も授業の工夫を続けてまいります。

また、今年度はGIGA端末の活用に取り組んできました。低学年では手書き入力による観察カードの作成や発表など、中・高学年では朝の時間のタイピング練習や、学習中での活用(調べ学習、スライド、レポートの作成、感想交流など)を行いました。楽しみながら集中して取り組む姿が見られました。使い慣れていくことで、さらに学習の楽しさにつながってくると考えられます。

設問3. あなたが楽しみな時間をえらんで、チェックしましょう。

設問4. あなたが苦手だなと思う時間をえらんで、チェックしましょう。



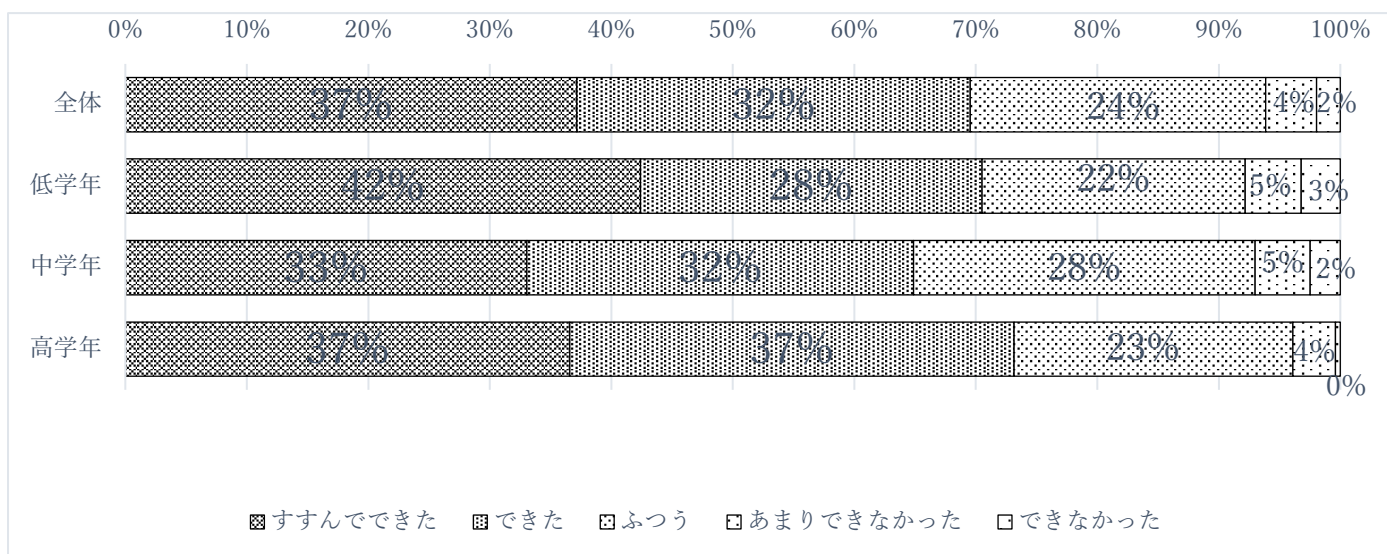
「楽しみな時間」としては、「休み時間」を一番に挙げる児童が多いです。友だちと思い切り遊ぶ時間が児童にとって大切な時間であることがわかります。また、「クラブ活動」も高学年児童にとって楽しい時間となっています。

「給食」を楽しい時間として挙げている児童が次に多いです。今年度も感染症対策としての黙食でとなっています。友だちと楽しく会話しながら食事をできる給食の時間が早く戻ってくるよう願います。一方、苦手な時間として給食を挙げている児童については、低学年が一番多く、中学年、高学年と進むにつれて減ってきます。これは、低学年のうちは嫌いな食べ物が多いため、「苦手」と捉えているものの、学年が上がるにつれて食べられるものが増えてくるためと考えられます。おいしく食べられるものが増えるのは、うれしいことです。

6年生が企画し、1年生から6年生と一緒に活動する「たてわり活動」については、計画・運営にたいへんさや不安を感じる児童もいますが、たいへんな分、終わった後の達成感を感じている姿も見られました。1・2年生のたてわり活動である「うきうき活動」では、2年生は一つ上の学年として1年生に優しくかわり、1年生が喜んでくれたことを励みにしていました。

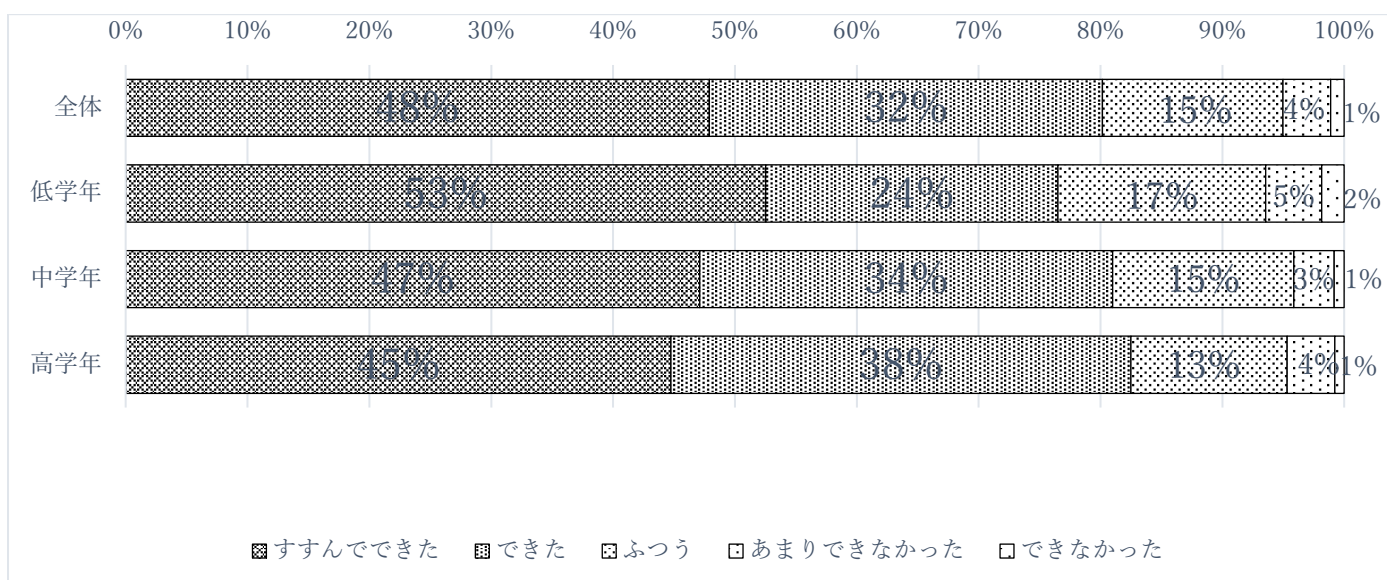
1年生は、掃除の時間を楽しみにしている児童が多く、特別時程の日などは「掃除をしたい!」という声が上がっていました。

設問5. すすんで実行委員や委員会の仕事をしたり、たてわり活動や行事などに参加したりできましたか。



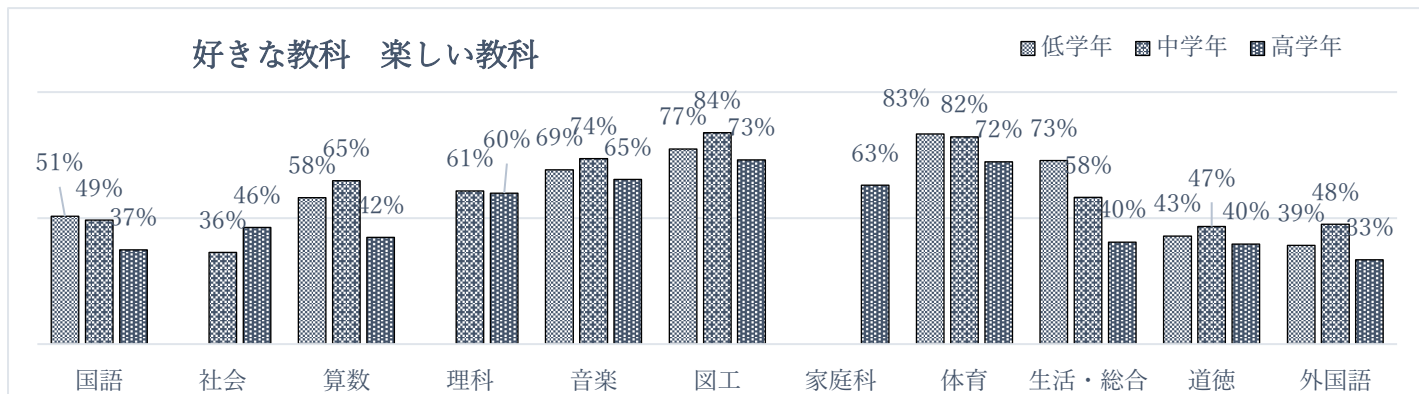
自主的活動に関しては、おおむね昨年度と同様の評価になっています。
 高学年で「すすんでできた」「できた」の回答が他の学年より高くなっているのは、高学年の児童のたてわり活動や委員会活動への自主的・意欲的な取り組みや、「できた」という達成感を感じることができている様子が伺えます。各委員会でのイベントや、お昼の校内放送での動画によるPRなど、GIGA端末を活用しながら、様々な取り組みを工夫していました。学校を支える高学年の児童の姿が表れています。

設問6. 友だちのよさや ちがいを認めて、なかよく協力して、生活できましたか。

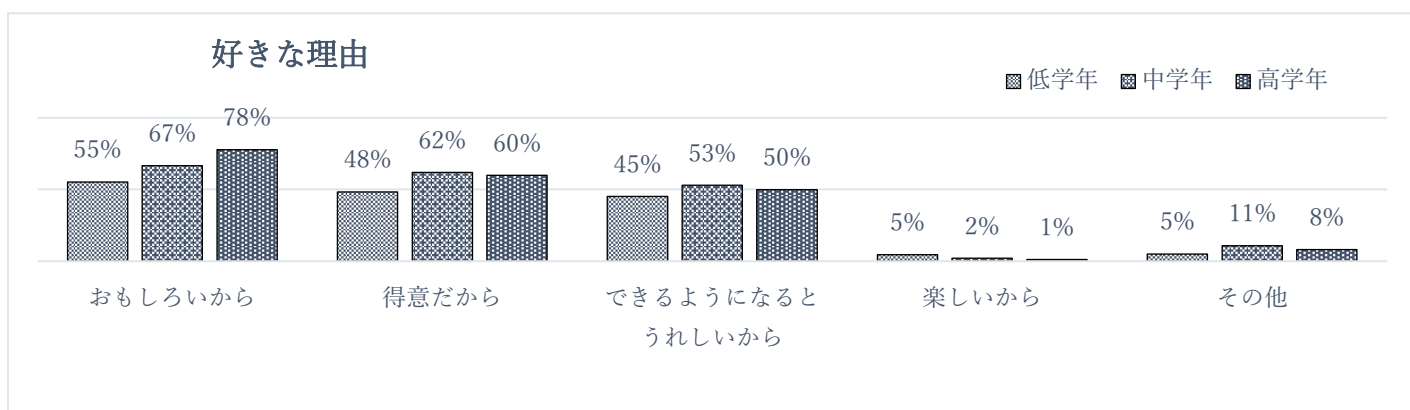


友だちとの協力については、今年度も全体で8割の児童が「すすんで協力できた」「協力できた」と回答しています。高学年が全体を上回る評価をしているのも昨年同様で、ここでも、宮前小のリーダーとして学校をリードしていく高学年の姿が受け継がれていることがわかります。一方で、「あまり協力できなかった」と評価する高学年の児童もいます。背景や原因を探り、フォローしていきます。

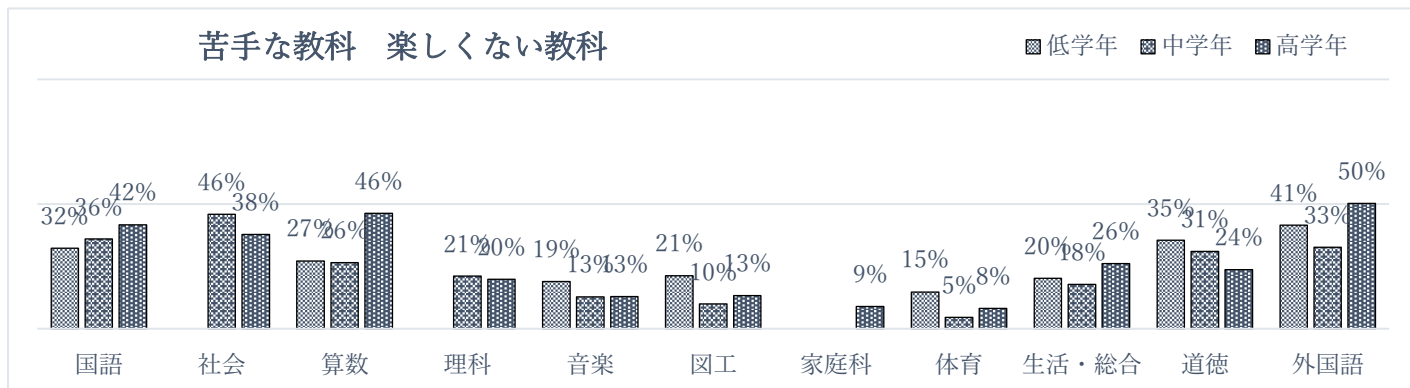
せつもん 設問 7. 学習で ^{がくしゅう}好きな教科、^{たの}楽しい教科を ^{えら}びましょう



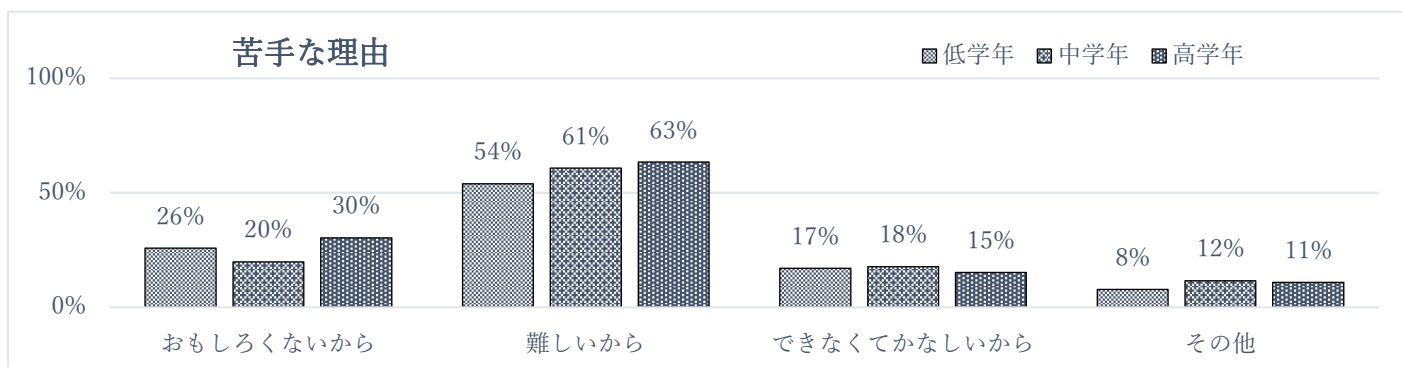
せつもん 設問 8. 7でえらんだ教科が、^{きょうか}すきだったり^{たの}楽しかったりするの、なぜですか。



せつもん 設問 9. 学習で^{がくしゅう}苦手な教科、^{たの}楽しくない教科を^{えら}びましょう。



せつもん 設問 10. 9でえらんだ教科が、^{きょうか}苦手だったり^{たの}楽しくなかったりするの、なぜですか。

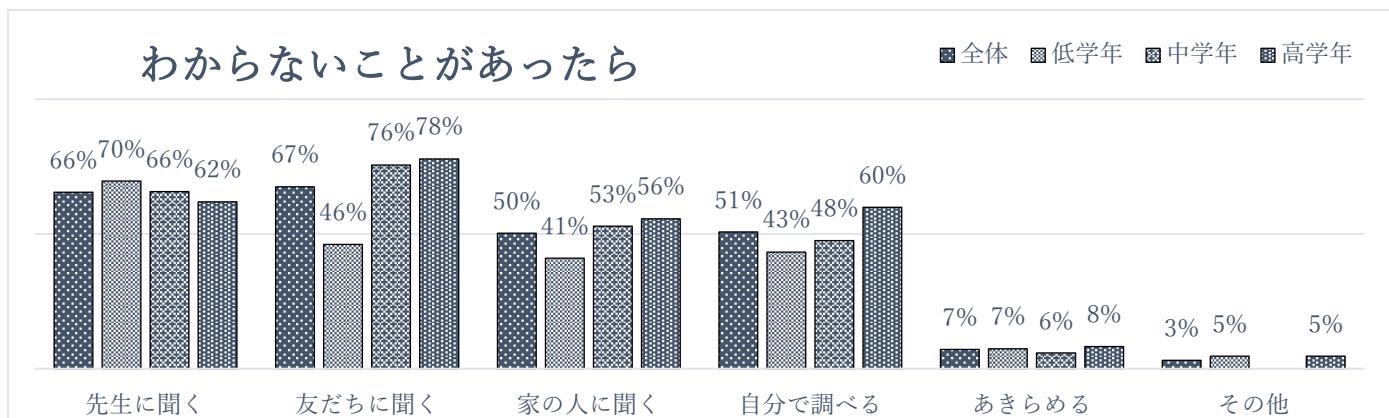


好きな教科としては、**体育**、**図工**が昨年と同様各学年で多く挙げられています。理由としては、「おもしろさ」が重要なことがわかります。実技教科に対しては、**関心**や**意欲**をもって取り組んでいる姿が見られました。感染症対策によりできることは限られていましたが、ねらいをしばって取り組んだことで、**苦手意識**のある児童も**楽しみながら学習**に取り組んでいました。得意ではなくても、「**やっていて楽しい**」という姿が見られました。各教科で、より**興味関心**をもって**意欲**が高まる**学習**を目指していきます。

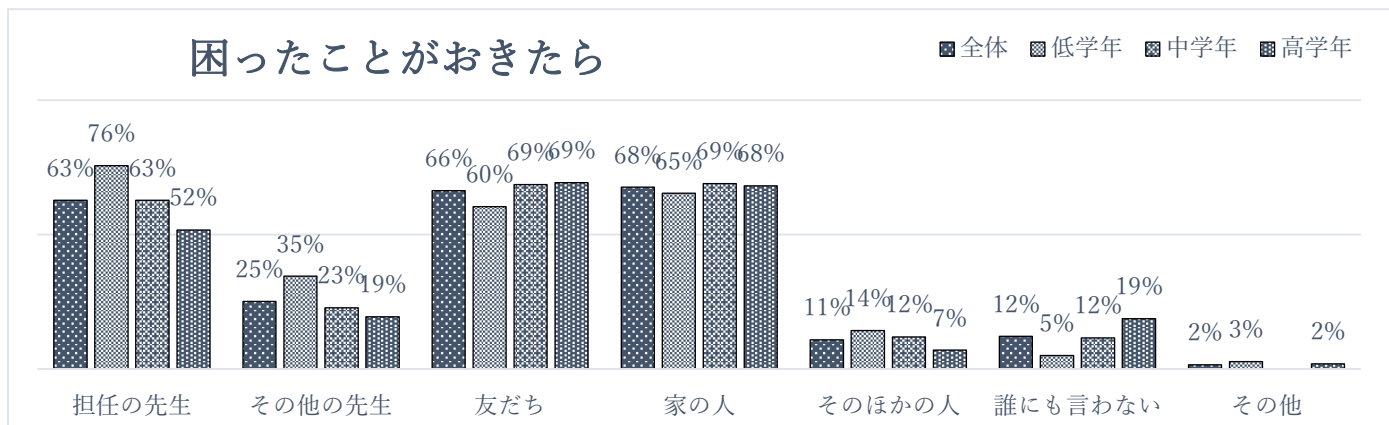
苦手な教科としては、**中学年**の**社会**が高くなっています。コロナ禍のなかで、**体験的学習**などを実施しにくい**状況**がありますが、より**地域**を身近に感じられるような**魅力的な資料**を準備していくなどの**だて**を考えていきます。

「**外国語**」は高学年で**教科**になって2年目になりますが、50%が「**苦手**」と回答しています。苦手な理由は、「**難しいから**」が多いです。教科となって盛り込まれた**内容**のなかで、**児童**が**難しい**と感じるものについて、**困難さ**を**減少**することができるよう、**学習方法**の工夫をしていきます。

設問 1 1. もし、**学習**でわからないことがあったら、どうしますか。



設問 1 2. もし、**困ったこと**がおきたら、だれに**相談**したいですか。



学習で困ったときは、「**友だち**」「**家の人**」の存在が大きいことが伺えます。**学習**については、**高学年**で60%が「**自分で調べる**」を挙げており、GIGA端末の活用により、**自分で検索機能**等を用いて調べようという意識が定着してきている様子が見受けられます。一方「**あきらめる**」という児童が各学年で見られます。**学びあい**、**あきらめず学習**に向かう姿勢を育てていけるよう取り組んでいきます。

また、**困ったこと**が起きたとき、「**誰にも言わない**」児童が**高学年**で約20%、**低学年**でも5%見られます。学校生活アンケートや個別の面談を行い、子どもたちが**相談**できる体制を整えています。困ったときには抱え込まず、すぐに**相談**できる**関係**づくりに一層努めていきたいです。